



地域おこし協力隊 リレーレポート

瀬戸内海と温泉と食べ物に魅せられて

伊予市地域おこし協力隊 原 奈津江

らしいかもしれない。来年はあなたがプレゼンしている姿がイメージできる(笑)」と言われ、その予言は現実となりました。

運命的な出会い

令和6年7月に伊予市地域おこし協力隊として着任し、2年目になりました。運命的な出会いで伊予市に引き寄せられ、思い立つてから移住を決めるまでに2か月とかかりませんでした。

生まれは長野県で、東京に住んで約30年。温泉好きで、海なし県生まれのため、定年後は海と温泉が近くにある土地へ移住したいと夢みており、関東周辺の中古物件を日々探していました。そろそろ老後を見据えて移住フェアへ行つてみよう!と思いつ立つた週末に開催されていたのが愛媛県でした。日本で四国だけ足を踏み入れたことがなく、観光地として何があるのか知る目的で参加し、プレゼンで初めて伊予市の景色や名産品を知り行つてみたくなった。就職相談コーナーで伊予市にどんな求人があるか相談したところ、担当者の方に「地域おこし協力隊に応募してみた

伊予市地域おこし協力隊になるまで

地域おこし協力隊募集を調べると2週間後の締切で3件出ており、栄養士で食いしん坊で物産展が好きな私は、その中の一つ「地域産品の販売促進・商品開発」という活動テーマに惹かれ、旅行気分で応募を決意。課題作文のために行ったことのない

伊予市をひたすら検索し、都内のアンテナショップへ出向いて調べ、応募締切間際に提出。その後には伊予市を訪れ、食べ物関係を中心に案内してもらえるようお願いし、現地を訪れてみると、ここなら住める!住んでみたい!という気持ちが湧きました。



特産品である栗の収穫体験

まさか自分がその年の夏に愛媛県へ移住するなど夢にも思っていませんでした。後になって考えてみると、「転居のおみくじ」で13年ぶりに大吉をひき、「転居、転職よし」と書かれていたのはこのことだったのか…と運命の導きと感じずにはいられませんでした。

アンテナショップでイベント販売

移住して何がしたいかと考えた際に、関東での知名度は非常に低かったので、まずは私のように「伊予市」という地名を知らない人達に知つてもらいたい!という想になりました。しかし、関東に伊予市の商品があまり置かれていることを知り、どうしたら置くことができるのかを着任してからすぐに調べたところ、アンテナショップ内のイベントコーナーで一週間物販と観光PRができることが分かり、半年かけて準備をすすめました。市内事業者を訪問



地域おこし協力隊 リレーレポート

トに興味はあるが関東に苦手意識があるため躊躇していいた事業者さんが多数いることが分かり、結果的にイベントには20事業者60品目参加してもらうことができました。準備から店番、片付けまでほとんど一人で行つたので大変でしたが、自分が想像していなかつた多方面での効果やマーケティング情報を収集、フィードバックすることができました。

アップサイクルで新しい鉛菓作り

移住した初日に大ファンになつたお豆腐屋さんがあり、交流する中で愛媛県産大豆の「おから」を廃棄していることを知り、何か商品を作れないかと考えていました。

地域銘菓は主に和菓子なので、伊予市をPRできて、日持ちして、分けやすい洋菓子があればいいなと思いながら地域を回っていると、菓子製造をしている福祉施設と出会いましたが、通常業務が忙しく、販路開拓に手がまわらないという課題が

温泉のはなし

現在の住まいから徒歩5分のところに550円で入れる温泉があり、回数券を購入して週一ペースで入っています。また車で20～30分くらいの日帰り入浴施設も色々とあり、泉質、休憩スペース、食事、岩盤浴など、その時の気分次第で温泉を楽しんでいます。驚いたことは「歩行湯」があ



東京アンテナショップで特産品イベント



アップサイクルで「おからクッキー」



徒歩5分で行ける「いよ温泉」



一目ぼれした五色姫浜公園からの景色



新鮮な地域産品で楽しく料理

と、イベントに話聞くトに興味はあるが、関東に苦手意識があるため躊躇していいた事業者さんが多数いることが分かり、結果的にイベントには20事業者60品目参加してもらうことができました。準備から店番、片付けまでほとんど一人で行つたので大変でしたが、自分が想像していなかつた多方面での効果やマーケティング情報を収集、フィードバックすることができました。

受けが良くなく中止することを聞き、健康志向を意識した30代～60代をターゲットにしてみました。試作段階で非常に美味しいクッキーが仕上がり、市内の omafuri で試食、アンケート調査、テスト販売してみたところ、思いのほか反応が良く、アンテナショップのイベントでも試食、販売を実施。非常に好評で、東京でも買えるようにしてほしいという声もありました。色々なフレーバーで伊予市をPRできるような商品を目標に、市内の高校生にも試食、味の提案会を開催し、絶賛開発中です。

と、イベントに興味はあるが、関東に苦手意識があるため躊躇していいた事業者さんが多数いることが分かり、結果的にイベントには20事業者60品目参加してもらうことができました。準備から店番、片付けまでほとんど一人で行つたので大変でしたが、自分が想像していなかつた多方面での効果やマーケ

案したところ、過去に作っていたものの子供たち。そこで、おからクッキーを提案したところ、過去に作っていたものの子供たち。

受けが良くなく中止することを聞き、健康志向を意識した30代～60代をターゲットにしてみました。試作段階で非常に美味しいクッキーが仕上がり、市内の omafuri で試食、アンケート調査、テスト販売してみたところ、思いのほか反応が良く、アンテナショップのイベントでも試食、販売を実施。非常に好評で、東京でも買えるようにしてほしいという声もありました。色々なフレーバーで伊予市をPRできるような商品を目標に、市内の高校生にも試食、味の提案会を開催し、絶賛開発中です。

余暇時間は近くにある五色浜までウォーキングをして夕焼けをのんびり見てきたり、料理を楽しんだりなど、予定より10年早まりました

が、この地に移住できて最高に良かったと感じています。

ること。しかも必ず誰かしら歩いているの

で、健康意識の高さに関心し、私も健康的に楽しく余生を過ごせることを確信せずにいられません。